

3 交流・広報活動

■平成 30 年 9 月

平成 30 年 9 月 1 日～30 日の間、以下のとおり交流・広報活動を行いました。

(1) ワシントン D. C. 沖縄会秋のピクニックへの参加（8 日）

沖縄会の年間 2 大行事の 1 つ「沖縄会ピクニック」に参加しました。時折激しい雨が降りましたが、沖縄料理、歌や踊りで参加者は大いに盛り上がりました。また、翁長知事を追悼する記帳簿にも多くの方々が記帳されました。

■平成 30 年 8 月

平成 30 年 8 月 1 日～31 日の間、以下のとおり交流・広報活動を行いました。

(1) サンフランシスコ沖縄県人会敬老会（19 日）

8 月 19 日（日）に行われたサンフランシスコ沖縄県人会の敬老会にて、今年で 100 歳となる同会のフランク東さんに、翁長知事からの表彰状（8 月 7 日付）が授与されました。フランク東さんは、今年 3 月 11 日の知事訪米でサンフランシスコ県人会との懇談会を行った際、翁長知事とお会いしています。

(2) 事務所への来訪者（14 日）

沖縄科学技術大学院大学学長室のデイヴィッド・ジェーンズ氏の訪問を受けました。同氏は米日財団での長年の勤務を経て、昨年からは沖縄科学技術大学院大学（OIST）に勤めているとのこと。先日（7/18）来所した東西センターの博士の紹介により今回の来所となりました。

米国内を中心に活動しており、米国内における OIST の知名度の向上、関係団体との交流促進を図っているとのこと。OIST に入る以前にも、2002 年以降、頻繁に沖縄を訪問しているとのこと。基地問題を含め沖縄のことにも詳しく、お互いの活動内容を情報交換し、今後も引き続き連絡を取り合うこととしました。

■平成 30 年 7 月

平成 30 年 7 月 1 日～31 日の間、以下のとおり交流・広報活動を行いました。

(1) 長野県からの学生記者との意見交換会（30, 31 日）

米国を訪問中の長野県の学生（中学生 10 名、高校生 10 名計 20 名）との意見交換会に

参加しました。中高生は、約1週間の米国滞在中、ワシントンDC及びニューヨーク市において、中高生記者として取材活動を行うとのこと。

中高生は複数のテーブルに分かれ、各テーブルには、DCで働く社会人が加わり、食事をしながら懇談し、社会人は中高生の取材活動の一環としてなされた中高生からの質問を受けました。アメリカ人ゲストには果敢に英語で質問しており「世界の平和の構築のために何をすべきか」、「テロ対策をどう進めるべきか」、「米国のボランティア活動について」、「何故、沖縄県がワシントンに事務所を置いているのか」等の質問がありました。

(2) 事務所への来訪者 (31日)

現在、ワシントンDCのシンクタンクでインターン中という学生の訪問を受けました。沖縄の米軍基地問題に関心があるとのことで、沖縄の米軍基地問題全般について説明し意見交換を行うとともに、各資料を提供しました。